

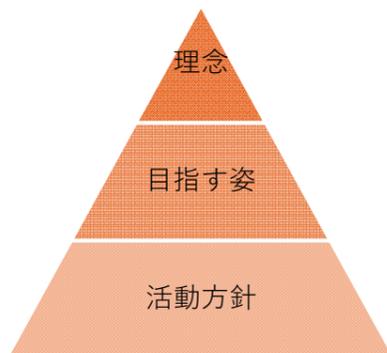
千葉県立美術館活性化基本構想に基づく第Ⅰ期実施計画 骨子案

「千葉県立美術館活性化基本構想に基づく第Ⅰ期実施計画」とは

「千葉県立美術館活性化基本構想に基づく第Ⅰ期実施計画」は、令和6年3月に策定した「千葉県立美術館活性化基本構想」の理念・目指す姿・活動方針を踏まえ、千葉県立美術館が今後取り組んでいく事業についての計画を定めるものです。

(計画期間：令和7年度～10年度)

「千葉県立美術館活性化基本構想」の理念と目指す姿



理念「アートを問う」

私たちはアートとは何かを、ともに問い続けます

人間とともにアートが生まれました。アートとは何かを問うことは、人間とは何かを問うことと同じ。だから、人間活動や社会の変容とともにアートも変わります。変化と多様性の時代に、この最終的な答えのない問いを、みなさんと続けていきます。

目指す姿

人々が行き交い対話する場となり、千葉から未来へ新たな文化をつむぎます

アートをめぐって人々が行き交う美術館空間に、最新のアートや研究成果を生み出していきます。千葉ならではの特色を活かしたアートを育み、あらゆる人々とともに新たな世界観を創造し続ける存在となることを目指します

活動方針Ⅰ 新たな出会いと発見の場に

大切に受けつがれてきたアートと多様なアートを様々な手法で紹介することで、千葉発のアートシーンを創出し、新しい価値観の気づきの場になります

活動方針Ⅱ 県内のアートプロジェクトの拠点として

豊かな自然環境と、首都圏にあり海と空の港を持ち、多様な人々が交差する本県の立地を活かし、県内のアートプロジェクトの拠点として、千葉文化を豊かにするとともに、社会の活力向上に寄与します

活動方針Ⅲ 次世代の感性を育成する場として

アートに触れる楽しさを伝えて、子どもたちの感性を育むとともに、県内外の次世代アーティストが千葉に集まり交流・活動ができるよう支援することで、未来のクリエイティブな人材を千葉から育みます

活動方針Ⅳ サステナブルな美術館に

アートの視点から向き合いながら、あらゆる人々の拠りどころになるとともに、日々変化し多様化する社会において、未来につながる持続可能な美術館を目指し、ウェルビーイングに寄与します

活動方針Ⅰ 新たな出会いと発見の場に

大切に受けつがれてきたアートと多様なアートを様々な手法で紹介することで、
千葉発のアートシーンを創出し、新しい価値観の気づきの場になります

1. 世界の潮流をとらえたアートを活用し、おどろきと感動が得られる千葉発のアートシーンを創出します

①多様な主体との協働プロジェクトの実施 ②野外空間を活用したアートの創出 ③他分野とアートの融合 ④国内外のアーティストとの交流の場の創出

項目	事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点 国内外のアーティストとの交流の場の創出	ドイツ等とのアーティスト交換事業 ・滞在制作プログラムの継続的な実施・支援、成果展示 ・トークイベントやワークショップなどの交流の機会の創出 ・県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働などアーティスト同士の 交流の機会の創出	④	I-1. II-1.2.3. III-2.3.
重点 地域の特色を活かしたアートプロジェクト	・本県ならではの自然と歴史、文化を活かしたアートプロジェクト ・千葉みなど地域との連携 回遊型展覧会、近隣施設とのコラボレーション、イベントへの参画などによる地域活性化への 貢献	②	I-1. II-1. IV-2.
他分野とアートの融合	・現代アート、写真、漫画・イラストなど新しい分野の紹介 ・ファッション、音楽、ダンスなど他分野とのコラボレーション	③	
世界の潮流を捉えたアート	・世界的なアーティストの紹介 ・国内外の気鋭のアーティストの紹介	①	
多様な主体との協働プロジェクト	・他の美術館等との連携による展示・教育普及・研究等の発展 ・学校等との連携による次世代育成 ・企業との連携 ・他分野とアートの融合、デジタル体験等 ・美術団体との連携やボランティアの参画など県民交流	①	

2. デジタル技術を活用して、情報発信や、新しいアート体験を創出します

①デジタル技術を活用したアートと鑑賞体験の創出 ②デジタル技術を活用した積極的な情報発信 ③資料のデジタルアーカイブ化

項目	事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点 資料のデジタルアーカイブ化・公開	・浅井忠を中心に、コレクションや調査研究の成果を計画的にデジタルアーカイブ化 ・オンライン上での公開、国内外の主要美術系サイトとの相互リンク	③	
重点 デジタル技術を活用した積極的な情報発信	・HPリニューアル ・SNS等を活用した情報発信の強化 ※民間出身の副業人材からのアドバイス	②	
デジタル技術を活用したアートと鑑賞体験の創出	・デジタルアーカイブ化した資料を活用した情報発信や新たな鑑賞体験 ・海外在住アーティストをウェブでつなげたアーティストトークの開催 ※民間出身の副業人材からのアドバイス	①	

3. 様々なニーズに合わせた体験を提供します

①多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラムの実施 ②世代に合わせた講座や体験プログラムの実施 ③様々な特性を持つ人々への対応

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラム、世代に合わせた講座や体験プログラムの実施	・ワークショップ、講座、研修、アウトリーチ、音声ガイド ※就学世代・就職層など各世代に向けた体験プログラムの充実、習熟度別の展開 ※情報資料室の活用、県立図書館等との連携	①、②	I-3. III-1.
		・アーティストが手掛けるプログラムの充実 ワークショップ、トークイベント等		
		・展覧会の理解を深める企画の充実 ワークショップ、ワークシート、ミュージアムトーク、対話型鑑賞		
重点	様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備	・平易な解説文や鑑賞しやすい照明など展示方法の改善	③	I-3. IV-4.
		・展示解説、館内サインの多言語化、翻訳機等への対応の配慮		
		・ガイドシステム（音声ガイド等）の検討		
		・点字による作品紹介		
		・触れる彫刻、視覚障害者の鑑賞環境の整備		

4. 県ゆかりから新たな分野までの作品を収集・研究し、その価値の向上に努めます

①房総の美術をはじめとするコレクションの紹介と研究の深化 ②アーティストの顕彰と活動支援 ③時代に合わせたコレクションの拡充

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	房総の美術をはじめとするコレクションの紹介・価値の向上	・コレクションを魅力的に魅せる常設展示コーナーの新設	①	
		・コレクションの研究成果を活かした展示		
		・ミュージアムグッズの開発、SNSの活用などコレクションの価値を高める企画 ※企業との連携の強化 ※民間出身の副業人材からのアドバイス		
		・コレクションと研究成果のデジタル技術の活用による発信 ※民間出身の副業人材からのアドバイス		
重点	コレクション研究の深化	・房総の美術をはじめとするコレクションの研究の深化、調査研究基盤の整備 ※他美術館等、外部機関との連携 ※図書購入、研究時間の確保等、研究基盤となる環境の整備 ※『研究紀要』刊行の再開	①	
	県ゆかりのアーティストの顕彰と活動支援	・県ゆかりのアーティストの展覧会等による紹介 ・県内若手アーティストの活動の場の提供 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※県内アートプロジェクトとの連携	②	
重点	コレクションの拡充	・作品収集方針、作品管理要領の見直し	③	
		・コレクションを充実させるための収蔵環境の整備		
		・現代アートなど新しい分野のコレクションの収集		

活動方針Ⅱ 県内アートプロジェクトの拠点として

豊かな自然環境と、首都圏にあり海と空の港を持ち、多様な人々が交差する本県の立地を活かし、
県内のアートプロジェクトの拠点として、千葉文化を豊かにするとともに、社会の活力向上に寄与します

1. 県内アートをプロデュース・支援し、アートシーンの中心となります

①県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働 ②千葉みなど地域との連携 ③アートコミュニティの形成支援

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	国内外のアーティストとの交流の場の創出	ドイツ等とのアーティスト交換事業 ・滞在制作プログラムの継続的な実施・支援、成果展示 ・トークイベントやワークショップなどの交流の機会の創出 ・県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働などアーティスト同士の 交流の機会の創出	①	I-1. II-1.2.3. III-2.3.
重点	地域の特色を活かしたアートプロジェクト	・本県ならではの自然と歴史、文化を活かしたアートプロジェクト ・千葉みなど地域との連携 回遊型展覧会、近隣施設とのコラボレーション、イベントへの参画などによる地域活性化へ の貢献	②	I-1. II-1. IV-2.
	アーティストと小・中・高校生の出会いの場を創出	・夏休みにアトリエ棟を小・中・高校生に開放し、創作体験の機会を提供 ・県内若手アーティスト、ボランティアサポーター等による指導、交流による アートコミュニティの形成支援 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	③	II-1.2.3. III-1.2.3.

2. アートについて様々な関心をもった人々が行き交う場を用意します

①アーティスト同士の交流の機会の創出 ②創作体験の機会の提供 ③アートを媒介としたコミュニティの形成

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	国内外のアーティストとの交流の場の創出	ドイツ等とのアーティスト交換事業 ・滞在制作プログラムの継続的な実施・支援、成果展示 ・トークイベントやワークショップなどの交流の機会の創出 ・県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働などアーティスト同士の 交流の機会の創出	①、②、③	I-1. II-1.2.3. III-2.3.
	アーティストと小・中・高校生の出会いの場を創出	・夏休みにアトリエ棟を小・中・高校生に開放し、創作体験の機会を提供 ・県内若手アーティスト、ボランティアサポーター等による指導、交流による アートコミュニティの形成支援 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	①、②、③	II-1.2.3. III-1.2.3.
	アートを媒介としたコミュニティの形成支援	・展覧会やイベント等アートプロジェクトへのボランティア、サポーターの参画拡大 ・大学生サポーターの新設	③	II-2. III-3.

3. 唯一の県立美術館として、県内各地域、学校、企業など多様な主体と連携します

①多様な主体との協働プロジェクトの実施（再掲）②県内各地域との連携 ③美術団体との連携

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	国内外のアーティストとの交流の場の創出	ドイツ等とのアーティスト交換事業 ・滞在制作プログラムの継続的な実施・支援、成果展示 ・トークイベントやワークショップなどの交流の機会の創出 ・県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働などアーティスト同士の 交流の機会の創出	①	I-1. II-1.2.3. III-2.3.
	アーティストと小・中・高校生の出会いの場を創出	・夏休みにアトリエ棟を小・中・高校生に開放し、創作体験の機会を提供 ・県内若手アーティスト、ボランティアサポーター等による指導、交流による アートコミュニティの形成支援 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	①	II-1.2.3. III-1.2.3.
	県内各地域との連携	・移動美術館の開催 ・音楽など他分野の組織との連携	②	
	美術団体との連携、活動支援	・県内美術団体（県展、団体展）等との連携、活動支援	③	II-3. III-2.

活動方針Ⅲ 次世代の感性を育成する場として

アートに触れる楽しさを伝えて、子どもたちの感性を育むとともに、
県内外の次世代アーティストが千葉に集まり交流・活動ができるよう支援することで、未来のクリエイティブな人材を千葉から育みます

1. アートに触れる楽しさを伝えて、子どもたちの感性を育みます

①想像力を育み感性を刺激する鑑賞、体験プログラムの実施 ②学校教育との連携による美術教育の拡充 ③多様な主体との協働プロジェクトの実施（再掲）

項目	事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点 想像力を育み感性を刺激する鑑賞、体験プログラムの実施	・子ども向けアート体験コーナーの新設	①	I-3. III-1.
	・ワークショップ、講座、研修、アウトリーチ、音声ガイド ※就学世代・就職層など各世代に向けた体験プログラムの充実、習熟度別の展開 ※情報資料室の活用、県立図書館等との連携		
	・アーティストが手掛けるプログラムの充実 ワークショップ、トークイベント等		
	・展覧会の理解を深める企画の充実 ワークショップ、ワークシート、ミュージアムトーク、対話型鑑賞		
	・子どもが過ごしやすい場所を確保 ※みちのにわなどの取組の発展		
重点 学校教育との連携による美術教育の拡充	県内学校団体による美術館利用の促進 ・スクール・バス事業による県内学校への大型バス利用機会の提供 ・スクール・プログラムの新たな整備、提供 ・ティーチャーズ・プログラムの充実を通じて、学校団体利用を大幅に促す	②	
アーティストと小・中・高校生の出会いの場を創出	・夏休みにアトリエ棟を小・中・高校生に開放し、創作体験の機会を提供 ・県内若手アーティスト、ボランティアサポーター等による指導、交流によるアートコミュニティの形成支援 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	③	II-1.2.3. III-1.2.3.

2. 様々な方で若手アーティストを支援し、地域のアートを育てていきます

①滞在制作プログラムの継続的な実施・支援 ②アーティスト連携や県民参画によるプログラムの実施 ③県内アーティスト、美術団体への活動支援

項目	事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点 国内外のアーティストとの交流の場の創出	ドイツ等とのアーティスト交換事業 ・滞在制作プログラムの継続的な実施・支援、成果展示 ・トークイベントやワークショップなどの交流の機会の創出 ・県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働などアーティスト同士の交流の機会の創出	①、②	I-1. II-1.2.3. III-2.3.
アーティストと小・中・高校生の出会いの場を創出	・夏休みにアトリエ棟を小・中・高校生に開放し、創作体験の機会を提供 ・県内若手アーティスト、ボランティアサポーター等による指導、交流によるアートコミュニティの形成支援 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	②	II-1.2.3. III-1.2.3.
高校生の活動を支援	・高等学校文化祭に「千葉県美術館賞」等を設けて作品を顕彰 ・高校生の発表の場を設ける ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	③	
美術団体との連携、活動支援	・県内美術団体（県展、団体展）等との連携、活動支援	③	II-3. III-2.

3. アートについて様々な関心をもった人々が行き交う場を用意します（再掲）

①アーティスト同士の交流の機会の創出（再掲）②創作体験の機会の提供（再掲）③アートを媒介としたコミュニティの形成（再掲）

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	国内外のアーティストとの交流の場の創出	ドイツ等とのアーティスト交換事業 ・滞在制作プログラムの継続的な実施・支援、成果展示 ・トークイベントやワークショップなどの交流の機会の創出 ・県内各地で実施されるアートプロジェクトとの連携、協働などアーティスト同士の交流の機会の創出	①、②、③	I-1. II-1.2.3. III-2.3.
	アーティストと小・中・高校生の出会いの場を創出	・夏休みにアトリエ棟を小・中・高校生に開放し、創作体験の機会を提供 ・県内若手アーティスト、ボランティアサポーター等による指導、交流によるアートコミュニティの形成支援 ※アーティストフォローアップ事業（県）、アーティスト交換事業（I-1.）との連携 ※高等学校文化連盟（高文連）との連携	①、②、③	II-1.2.3. III-1.2.3.
	アートを媒介としたコミュニティの形成支援	・展覧会やイベント等アートプロジェクトへのボランティア、サポーターの参画拡大 ・大学生サポーターの新設	③	II-2. III-3.

活動方針Ⅳ サステナブルな美術館に

アートの視点から向き合いながら、あらゆる人々の拠りどころになるとともに、日々変化し多様化する社会において、未来につながる持続可能な美術館を目指し、ウェルビーイングに寄与します

1. 多様性が尊重され、あらゆる人々の拠りどころとなります

①あらゆる利用者モデルを想定した事業の実施 ②障害の有無等を問わない芸術活動の支援 ③あらゆる人々にやさしい環境の整備

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備	・平易な解説文や鑑賞しやすい照明など展示方法の改善	①、③	I-3. IV-4.
		・展示解説、館内サインの多言語化、翻訳機等への対応の配慮		
		・ガイドシステム（音声ガイド等）の検討		
		・点字による作品紹介		
		・触れる彫刻、視覚障害者の鑑賞環境の整備		
		・授乳室など子ども向け施設の整備		
	障害の有無等を問わない芸術活動の支援	・障害の有無等を問わない鑑賞・体験の機会の創出 ・障害者の作品発表の場の提供 ※障害者芸術支援団体との連携	②	IV-1.2.

2. 多様な主体や地域のパートナーとともに社会課題の解決に貢献します

①社会的課題への関心を喚起させる活動の展開 ②アートを通じた活動による社会的課題解決への貢献
③文化観光の拠点として、地域の活性化に寄与する事業の展開

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	地域の特色を活かしたアートプロジェクト	・本県ならではの自然と歴史、文化を活かしたアートプロジェクト	③	I-1. II-1. IV-2.
		・千葉みなと地域との連携 回遊型展覧会、近隣施設とのコラボレーション、イベントへの参画などによる地域活性化への貢献		
	障害の有無等を問わない芸術活動の支援	・障害の有無等を問わない鑑賞・体験の機会の創出 ・障害者の作品発表の場の提供 ※障害者芸術支援団体との連携	①、②	IV-1.2.
	障害者施設・高齢者施設・医療施設等との連携による社会的課題解決への貢献	・障害者施設、高齢者施設、医療施設などによる団体見学利用の促進、受け入れ	①、②	

3. 未来につながる美術館を実現する基盤を整備します

①収蔵環境の整備と作品保全 ②人員確保と育成、外部人材活用や人員交流による活力維持 ③アメニティ設備の整備、充実による良好な美術館空間の創出

項目		事業内容	基本構想 関連項目	重複 掲載先
重点	施設整備計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 作品管理、展示、教育普及などの活動、建物内外の来館者導線、ショップやレストランなど付帯施設等の在り方を再検討 現建築を保存・継承しその魅力を向上させる前提で、改築・改修・増築を視野に入れた施設整備計画に着手 	①	
重点	収蔵環境の整備と作品保全	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫空調故障の改善、更新 収蔵スペース不足の抜本的解決、新収蔵庫棟の建築に向けて着手 展示室の環境改善、展示用備品の更新 	①	
重点	アメニティ設備の整備、充実による魅力的な美術館空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けの空間を整備するなど、ゆっくりとアートを鑑賞したり、交流できる憩いの場を整備 ※みちのにわなどの取組の発展 ※情報資料室の活用 	③	
		<ul style="list-style-type: none"> 建築探検ツアーの実施、建築探検ワークシートの作成 		
		<ul style="list-style-type: none"> 地域の回遊性向上のための動線整備、サインの充実 		
		<ul style="list-style-type: none"> レストランの魅力向上 集客効果が向上する魅力ある美術館レストランへ受託業者の選出 展覧会と連携したメニューや装飾 レストラン棟の新建築 		
		<ul style="list-style-type: none"> ミュージアムショップの魅力向上 美術館ファンを満足させるようなショップ受託業者の選出 展覧会との連携、県内クラフト作家 企業と連携したグッズ開発 		
重点	県立美術館のブランディングと発信	<ul style="list-style-type: none"> CI・館内サイン等の統一、ブランディング 	③	
		<ul style="list-style-type: none"> HP、SNS等を活用した情報発信の強化 ※民間出身の副業人材からのアドバイス 		
		<ul style="list-style-type: none"> 広報体制の強化、広報人員の確保と育成 	②	
		<ul style="list-style-type: none"> 展覧会・アートプロジェクトなどでの効果的な広報計画と実施 (広報業務の外部委託など) 		
重点	人員確保と育成、外部人材活用や人員交流	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究分野での他機関との人材派遣・交流、副業人材の活用 	②	
		<ul style="list-style-type: none"> 研修への参加などによる職員の能力向上 		